2) 報道の全訳

(1) 企業管理ニュース(8)

中国企業管理協会秘書処 = 1982.3.5 =

企業の経営診断指導は企業を整理し、経済効益を高める有効的な方法です。ハルピンメリヤス・鉛筆・腕時計工場の企業診断は初歩的な効果をあげました。(作者:ハルピン企業管理協会)

———— ✕ ———— ✕ ———— ✕ ————

去年の6月から9月まで、中国企業管理協会、黒竜江省企業管理協会と、ハルピン市企業管理協会が共同で行った≪企業コンサルタント講座≫は連合診断組を組織して、JPCの永野直、青木三郎、武内忠男、松本紘、河口千代勝、鈴木英武ら6名の専門家の指導の下で、ハルピンメリヤス工場、ハルピン中国標準鉛筆公司、ハルピン腕時計工場の企業経営診断が行われました。診断組は、我が市の企業管理の現状から出発して現場の調査分析を通じてワークサンプリング、工程分析、PQ分析、損益分岐点など、いろいろな技法を使って3つの工場が企業管理の面で存在する問題に対して289ケ条の改善意見を提出しました。今度の診断活動は企業から歓迎されました。半年以来の改善措置を通じて、もう割合にはっきり経済効果が上げられております。

鉛筆工場の診断は、"木材の歩留りが低い" — この鍵となる問題に対して工程分析などの方法を使って、木材加工の各工程に対して追跡調査を行って多くのデータをとった基礎の上で分析を通じて67ケ所の改善点が出されました。この工場では改善案が積極的に採用され、去年の年末までに木材の消耗は診断前に較べて2.4%低下しました。この工場のアルミパイプ(鉛筆と消ゴムを継ぐ部分)製造現場は設備管理の面で不合理なところがあったため、金型の品質も低く、技術レベルも低く、設備の稼働率が低いため、ワークサンプリングで測定を行ったところ、平均稼働率は僅か48.8%で、生産されるアルミパイプは生産の必要に間に合わず、1981年上半年に外部から購入したアルミパイプは2,500万個にもなり、当工場で生産する費用と較べると49,000元多く使っていることになりました。改善措置をとると、たった1年間で節約されるアルミパイプの費用は39,000元になります。労働者と職員は皆、口を揃えて"小さなアルミパイプさえ軽視することは出来ない"と云いました。

企業診断を通じてハルピン腕時計工場は整理の措置を貫き、企業管理を改善する面で比較的よい経済効果を上げました。1981年第4四半期と去年同期とを較べると、生産量は33.2%高められ、銅の消耗率は19.9%下げられたため、単位コストは20%下げられ、利益は107%高められ、全体の労働生産性は14.2%高められました。

ハルピンメリヤス工場での診断組によって、隘路工程分析、PQ分析と各図表を通じて出された結論は、不良率が高いこと、溜る半成品も多いことは品質が低く値段が高くなることと生

産性が低下することの悪循環の主要原因であるとのことです。診断を通じて、この工場は改善措置をとって生産サイクルは従来の11.5日間から6日間に短縮され、半成品の溜る問題も大きく改善されました。11月、12月と企業診断の前の5月と較べると42%と51%に下り、診断前の5月のノルマ指標の48.9%を超過したのでノルマ指標の86.4%と72.3%を占めるまで下ましげた。利子を支払う面では11月、12月の間に1万元あまり節約されています。管理の面での改善と“3つの汚れ(油汚れ、土汚れ、着いて来る汚れ)”の製品は、診断する前の37.34%から24.49%まで下げられ、このことによって製品の品質も向上されました。

3種類のメリヤスの肌着、下着類の製品の品質は、従来はこの国の三等品のレベルであったが現在は普遍的に二等品になって居り、そのうち衛生衣服は一等品に近づいております。去年の第4四半期の品質が向上し副製品、不良品が減少したため3,680元の増収になっております。

実践によって立証された様に企業の経営診断指導は企業の面での問題点を発見して問題を解決し、企業を立派に整頓し、企業の経営管理レベルを向上させ、企業経営効果を向上する1つの方法であるということです。

こうした有効な科学的な方法を広めるために黒竜江省企業管理協会とハルピン企業管理協会は、先づハルピンでテストを行うことを決めました。1つ1つの局での養成訓練を通じて各局と企業のために診断専門部隊を養成します。計画によりますと今年はハルピンの6つの局に対して4回に分けて養成訓練を行い、良好な診断テストを行うと同時に企業診断の試験的な展開を行います。

(2) 人民日報＝1982.1.29＝

江蘇省は専門家を組織して企業診断を行って居ります。南京捺染工場と腕時計工場の実践で立証される様に、問題を正しく発見して、よい治療措置をとることは企業整頓の重要な手段の1つです。

―――――＊―――――＊―――――＊―――――

人間が病気をしたら、お医者さんに見て貰うように、工場に於て、どんな問題があっても現在では“専門のお医者さん”にみて貰うことが出来ます。この様な経済界の人々に“企業診断”と云われている活動が最近南京の2つの工場で、くり拡げられたあと、経済部門の広範囲な興味が引き起されております。

南京捺染工場で去年染色された布の品質は変動が大きかったので工場側の損失賠償が増大しました。工場の責任者は、このことに対して大変不安になっておりました。丁度その時、専門的に訓練された“お医者さん”が工場に入って病状の診断に来ました。彼等は幹部と労働者の意見に耳を傾けて、生産現場を実地調査し、労働者の操作と設備の運転情況を観測して多くの資料を分析しました。

半月の活動を通じて、染色布の品質を制約している主要原因は企業の品質管理体系が完備されていないことと、設備に対する維持修理もよくないこと、また作業方法も不合理なこと、生産・作業環境もよくないことを発見しました。したがって、これらの問題を解決する種々の方法が提案されました。捺染工場の責任者は、彼等（実習診断員）は企業診断の立派なお医者であると云って褒めました。

企業診断は、また企業経営診断指導とも云われて居り、国外の企業界が経営管理を改善する有効な方法の１つです。診断の仕事に従事している人達の大多数は経済活動をよく知り、ある程度の理論知識と実践経験をもつ経営管理の専門家です。今度も診断を受けた南京時計工場の責任者の紹介によりますと、彼等は工場の、いろいろなものをよく見ていながら見ないふりをしている様子を発見し、また問題を徹底的に分析し、生産管理面での難問題を解決するという面で、指導的な意見を出すことが出来るということです。これは彼等が近代的科学的管理技術によって工場の現状に対する綿密な調査を行って正確な統計と科学的に測定されたデータによって説明するからです。この工場の工具現場で生産された中心支え（腕時計の部品の１つである）の生産量は常に不足している。以前の認識では、その原因は現場の作業員が不足し、設備も不足しているとのことであったが、診断者が現場の各作業チームに対して6,000回のワークサンプリングを行った結果、設備の稼働率が４６％であることが分りました。労働時間の利用率も５１％で、このことは現場内部の潜在能力は大きいということが立証されました。

診断チームは工場で労働者、職員、大衆の思想動向を特に表を付けて意識調査を立派にやりました。南京捺染工場の２８４名の幹部労働者に対する意識調査の結果では８４％の人が工場の生産計画について余りよく知って居ないことが分りました。工場の責任者が、この結果に大変驚きました。新しい年の始めに労働者の一人一人に全工場の生産任務を分るようにし、今年の奮斗目標を実現するために努力するよう呼びかけました。

この効果をもつ企業診断活動を推し広めるため、江蘇省経済指導部門は先日、南京、蘇州、無錫、常州などの地方で６０名あまりの工場の幹部と技術要員を選んだので、南京捺染工場と南京腕時計工場の診断模範を示す活動を見学することを通じて各地の企業の診断の専門部隊を養成します。企業が管理レベルを向上するための診断活動が企業整頓の１つの重要な手段として広範囲に亘って繰り拡げられます。

(3) 黒竜江日報＝1982.5.9＝

わが省は企業診断をテストすることによって有益な経験をあげました。ハルピンミシン第２工場に対する診断意見は、管理面での問題を正しく把握し、実行可能な改善案を作ることによって工場の方に受け入れられました。

―――――※―――――※―――――※―――――

わが省が先日初めて独自で行った企業診断で割合によい効果を上げました。今後、企業診断

活動を操り拡げる面で有益な経験を提供しました。今度の診断は、省とハルピン市企業管理協会との共同で行われた診断訓練班の学生が、3月から4月の間にハルピン第2ミシン工場で行ったことです。これらの学生は、皆ハルピン市の各工場の企業管理者で、これは、彼等が1ケ月の訓練が終った後で行った実習診断である。

彼等は、この工場の企業診断を行う中で、1万あまりの具体的なデータをとって、6万の勘定口座に対して計算して、243枚の図表が作り出され、279の改善点が出されました。ミシン工場の副工場長の張万祥さんは『診断組が我が工場の管理面での問題を正しく探し出して、細かく検査し、出された改善案も実際的であるから我々は直ぐに整頓改善案を作ります。』と云いました。

今度の診断は、経済効益向上を中心として行われたものです。ミシン第2工場の従来の生産状況から見ますと、この工場の今年のミシン生産計画は、たった7万台生産するだけで、損失は17万元です。診断を通じて潜在能力が大きいということを認識し、10万台のミシンを生産することは本当に可能であることが認識されました。損失を解決するばかりではなく、64万元の利益を出せるということです。診断組は、工場の半成品の流れ線図を調整する面でも手伝いました。現存の製品倉庫と半成品倉庫に対して調整を行って合理的な新しい配置をしました。このような改善を通じて労働生産性を向上させるばかりではなく、労働強度も減らされる350平米の倉庫を作ることが出来ます。ケース製作現場を診断した時は41工程に対して測定を行いました。1つ1つの工程の台時効率を測定し、合理的先進的なノルマを作る面で科学的根拠が提供されました。診断チームによって作られたTQCと全面的経済採算性の案は、もう既に工場の方で採用され居ります。

(4) 北京日報＝1982.2.11＝

人口が密集している北京市郊外地区では未開発の土地を探すことは難しい。殆んど不可能であるが、各業種の活動の中で開懇を待ち望んでいる土地が至る所に見えます。企業の病気を治すことは、経済管理分野で積極的に開発を望んでいる土地です。

去年第4四半期に、中国企業管理協会と北京企業管理協会とが≪北京国際企業管理講座≫を共同で行いました。講座のテーマは“どのようにして企業の病気を治すか”でした。参加者70人の中で絶対多数の人は北京市あるいは兄弟省市の企業の工場長さんでした。講座は4名の日本の企業診断専門家を招いて行われました。

患者の病気を治すのと同じ様に、企業の病気を治す時にも科学的技法が必要です。≪北京企業経営管理講座≫に参加した工場長さんは、2ケ月余りの学習を通じて企業の病気を治す知識のノーハウをほぼ身につけました。その後、わざわざ北京鋼鐵工場、同市布靴工場で診断・治療を行って北京市の企業の病気を治す面での序曲が書かれました。

わが工場の前身は“天成斉靴屋”です。1881年発足され今迄、まる一世紀の歴史をもっ

て居ります。北京市で最も古い企業の１つです。記者がこの布靴屋にインタビューした時に32才の副工場長、范旭さんは私に次のように紹介されました。

『我々の企業管理のレベルは低く、生産の発展も遅れています。布靴の生産量は１９７９年には６５万足、１９８１年には１２６万足に達し、この３年間で約２倍に高められましたが、私達の利益の向上率は、こんなに早く向上しませんでした。製品生産サイクルも長過ぎ、資金の面でも緊張感をもっています。毎日出勤する時、財務係の資金の分配使用について喧嘩して悩んでいた有様です。丁度その時、北京市企業管理協会から“お医者さん”が工場診断をするので歓迎しますか？と云うので、私達は“歓迎、歓迎”と答えたのです。今、その結果を見ますと、お医者さんが私達の希望に背かなかった訳です。

“お医者さんは貴方の工場に、どんな処方箋や薬をくれましたか？”

私が、そういう風に聞きましたら、范旭さんは興奮しながら『現場へ行きましょう。見ながら話しましょう。』と云い、布靴工場の主な建物である３階建のビルへ行きました。

ビルの周囲に原料倉庫、製品倉庫と２つの現場がありました。范旭さんは私に次のように聞きました。『一定の布靴は原料から製品の出荷までの運搬距離は、どの位あるか知って居ますか？』。『もともとは私も知らなかったので巻尺で計って、やっと分りました。運搬距離が、こんなに長いことは主に工場内の現場の配置が不合理で、現場内の作業台の不合理が原因です。“お医者さん”の提案で、もと西北の角にあった原料倉庫、製品倉庫を工場地区の中心地の自転車棚の所に移して、その他の措置を講じた結果、一足の靴は原料から製品出荷までの運搬距離は2,345メートルから３分の１に減りました。

混合煉成現場のドアの所には再生ゴムが沢山積んでありました。范旭さん次のように云いました。

『これらの再生ゴムは、もともと靴底を作る原料です。もとはそのまま置いてありました。下の再生ゴムが使われなかったのですが新しい物は、その上に置いてゆくのです。時間が長くなると下の再生ゴムが廃棄物になりました。ゴムを切る時も浪費が多かったのです。お医者さんの提案で再生ゴムを３ケ所に分けて置くようにすると、１ケ所を食い終った後、もう１ケ所を食います。それと同時に、出来るだけ原材料を節約することも出来ます。おおまかな統計によりますと一年中に節約される再生ゴムの値段は3.4万元に達します。

『布靴のもともとの生産サイクルは５１日間ですけれど“お医者さん”達の提案された措置をとったので３５日間に縮められました。資金の毎年の回転率は７回から９回迄に上りました。このことによって資金はもともとの緊迫した状態から抜け出ることが出来ました。もし“お医者”さんの提案が今年の年末までにほぼ実現されれば一年中で15万元の利益を増加することが可能です。』

この布靴工場に来る前、私は北京従業管理協会のある同志から聞きましたのは、『お医者さ

んが鋼鑪工場の診断でもいい効果を上げたので診断後、鋼鑪工場は今年の計画を修正しました。生産量は７００万個から８００万個に上りました。上納された利益は１１０万元から１３０万元に達しました。」ということでした。

(5) 河北日報＝１９８２.３.８＝

企業整頓の方法……、潜在力を掘り出す手続きの１つ……、≪わが省初めての企業コンサルティング診断テストの仕事が終ります。≫唐山市ボイラー工場は診断を通じて病気のもとを探し出し、企業管理を改善する立派な方法が出されました。

この企業コンサルティング診断のニュースを続むと、人々の面目を一新させます。企業を立派に運営する道が切り開かれたのです。最近は企業の管理を改善し、企業を全面的に整頓する面で新しい方法・道路が必要です。これは強い現実的意義と指導的役割をもつもので、この第一歩を踏み出したけれども、皆で引続き研究し模索することが必要で、絶えず完備することが必要です。これと同時に次第に繰り拡げ、効果を拡大して我々の企業を近代化の道へ導くことを促すことが必要です。

―――――― ＊ ―――――― ＊ ―――――― ＊ ――――――

２月３日から２月２９日の間、中国企業管理協会、河北省企業管理協会、唐山企業管理協会が合同で組織した企業コンサルティングチームとが唐山市ボイラー工場で企業診断を行った。彼等は、お医者さんが患者の病気を治すのと同じ様に企業の病気をよく把握して病状に応じて薬を盛ることによって企業の“疲病”を治す処方を下して企業の前進のために方向を指示したことによって全工場の幹部労務者、職員から熱烈な歓迎を受けました。

唐山市ボイラー工場は全省のボイラー工業の中で比較的先進的な企業です。五年来、労働者職員全体の刻苦奮斗によって地震が起ったあと、国から配られた生産資金以外を国家に返済した以外、政府に上納した利益は６８５万元にのぼっています。但し管理の面でいろいろの合理化の行われていない面があるため、ここ２年の間は生産性、経済効益の面で低下の方向へ進んで居ります。彼等は中国企業管理協会と省、市の企業管理協会の共同企業診断チームを工場に招いて企業診断を行った訳です。

診断チームは中国企業管理協会が自身で養成した教師が“企業コンサルタント養成講座”を行って新しい経営管理カリキュラムと企業診断の技法を教えたあと、教師と一部の生徒の参加によって組織されたものです。

彼等は工場に入ったあと、幹部労働者の意見に耳を傾けて問題のある各課、室、現場に深く入って生産現場の調査を科学的な技法によって労働者の操作と設備の運転情報に対して測定すると同時に沢山の生産資料を分析しました。半月位の仕事を通じて、ボイラーの品質が一等品に達しない原因と、生産性と経済効益が下る主要原因を探し出して来ました。これは作業方法、紀律の油断、ボイラーの主な工程が遅れて設備の稼働率、歩留りも低く、工場の建物、現場の

配置、物流の面でも不合理があり、経済採算にも注意が不足しているためです。これらの問題に対して彼等は病気を治す百箇条の方法と措置を出しました。ボイラー工場の幹部、労働者、職員が彼らは本当に企業の病気を治す立派なお医者さんであると褒めました。

企業の診断は、この前派遣された工作チームとは違います。診断の仕事にたずさわっている人々は中国企業管理協会と、省の企業管理協会の専従職員以外に大多数の人は全省の各地、各省と唐山市の各企業の幹部で、彼等は経済活動のことをよく知って居り、ある程度の現場レベルの実践的な経験を持って居り、経営管理の専門家です。ボイラー工場内で3名の工場長、副工場長と4名の課長も、この診断チームに入りました。彼等は企業経営を改善する立場に立って数回の調査を通じて沢山のデータを手にとって、いろいろな図表を作って、すべての精密度の高い統計と科学的に測定されたデータによって説明を行って居ります。

往復ボイラーが一等品に達していない原因を明瞭にするため、設計品質から製造品質、ユーザーの反応と組合せるという品質の面で、全面的な分析を行って製品品質を高める具体的な、改善案が出されました。この工場指導幹部は『診断チームは私達のために病気の元を探し出し、企業管理を改善するよい方法を出しました。』と云って居りました。彼等は問題に対する見方も正しく、分析も正しいものでした。例えば、工場内の建物の配置と現場の内外の物流分析に対しては巻尺で1メートル1メートル計りました。工場の姿を、きれいにするため、環境もよくするため、人の流れと物流とを分離しました。このようなことによって重労働と、治工具、半成品の往復の運搬を合理化して、工場外の運搬の量を328万トン・メートルも減らしました。工場内の運搬距離では、穴明けとの間では一年間に78キロメートルの運搬距離を短縮し、このことは毎年700トンの鋼と補助材料を処理する企業にとって大変大きな意義をもって居ります。以前は、この工場の製品の利益が高い経済採算をもって居り、気を使わないでムダになっている現象が、ひどかったのです。運搬量だけで毎年16万元にも達していました。

診断改善案の中で、診断チームは企業診断と幹部の養成訓練とを結びつけることを提案して居ります。彼等は職組長以上の幹部を対象として企業コンサルティングとは何か？ 診断を、どのようにやるか？優れた工場長と現場主任は、どのような素質を持って居るか？ どのように労働者、職員の動機づけをするか？どのように市場調査と販売予測をするか？ 経済採算とは何か？どのようにして経済採算をよくするか？これらの内容をめぐって7回の講座を行いました。労働者、職員全体は診断報告を聞いて診断を成功させ、科学管理の基礎知識を普及するための絶好の機会になりました。

4. 教育カリキュラム案

目　　次

1) 経営管理基礎講座（6ヶ月）

〈教員養成〉（コンサルタントコース）

第1月分時限表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	月	開講関係	開講関係	
	2	火	国際経済の現状と課題	国際経済の現状と課題	
	3	水	中国経済の現状と今後の課題	中国経済の現状と今後の課題	中国側講師
	4	木	中国の経済政策と産業構造	中国の経済政策と産業構造	中国側講師
	5	金	中国における企業管理の現状と今後の課題	中国における企業管理の現状と今後の課題	中国側講師
	6	土	生産性の理論と生産性運動	生産性の理論と生産性運動	
	7	日			
	8	月	生産性と能力開発	生産性と能力開発	
	9	火	生産性と経営組織	生産性と経営組織	
	10	水	経営管理概論	経営管理概論	
	11	木	経営管理概論	経営管理概論	
	12	金	企業環境と企業行動	企業環境と企業行動	
	13	土	企業環境と企業行動	企業環境と企業行動	
	14	日			
	15	月	経営理念と企業行動	経営理念と企業行動	
	16	火	企業組織論	企業組織論	
	17	水	企業組織論	企業組織論	
	18	木	企業経営と意思決定	企業経営と意思決定	
	19	金	生産性と成果配分	生産性と成果配分	
	20	土	生産性と成果配分	生産性と成果配分	
	21	日			
	22	月	価値生産性と物的生産性	価値生産性と物的生産性	
	23	火	問題解決技法	問題解決技法	
	24	水	問題解決技法	問題解決技法	
	25	木	経営数学概論	経営数学概論	
	26	金	経営数学演習	経営数学演習	
	27	土	経営数学演習	経営数学演習	
	28	日			
	29	月	経営コンサルティング論	経営コンサルティング論	
	30	火	経営コンサルティング論	経営コンサルティング論	
	31				

第 2 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	水	ＩＥ・生産管理コースガイダンス	ＩＥ・生産管理コースガイダンス	
	2	木	ＩＥ概論	ＩＥ概論	
	3	金	生産管理概論	生産管理概論	
	4	土	方法研究	方法研究	
	5	日			
	6	月	方法研究	方法研究	
	7	火	方法研究	方法研究	
	8	水	方法研究演習	方法研究演習	
	9	木	作業研究	作業研究	
	10	金	作業研究	作業研究	
	11	土	作業研究演習	作業研究演習	
	12	日			
	13	月	ワークサンプリング	ワークサンプリング	
	14	火	ワークサンプリング演習	ワークサンプリング	
	15	水	工程管理	工程管理	
	16	木	工程管理	工程管理	
	17	金	ＰＥＲＴ	ＰＥＲＴ	
	18	土	ＰＥＲＴ演習	ＰＥＲＴ演習	
	19	日			
	20	月	資材・購買・在庫・外注管理	資材・講買・在庫・外注管理	
	21	火	資材・購買・在庫・外注管理	資材・購買・在庫・外注管理	
	22	水	価格分析	価格分析	
	23	木	品質管理	品質管理	
	24	金	品質管理	品質管理	
	25	土	品質管理	品質管理	
	26	日			
	27	月	品質管理	品質管理	
	28	火	工場設計と運搬管理	工場設計と運搬管理	
	29	水	工場設計と運搬管理	工場設計と運搬管理	
	30	木	ＩＥ・生産管理診断の進め方	ＩＥ・生産管理診断の進め方	
	31	╳			

第 3 月 分 時 限 表

経営指導部

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	金	マーケティングコースガイダンス	マーケティングガイダンス	
	2	土	マーケティング概論	マーケティング概論	
	3	日			
	4	月	製品市場戦略	製品市場戦略	
	5	火	製品市場戦略	製品市場戦略	
	6	水	販売促進	販売促進	
	7	木	販売促進	販売促進	
	8	金	広告政策と人的販売	広告政策と人的販売	
	9	土	物的流通管理	物的流通管理	
	10	日			
	11	月	物的流通管理	物的流通管理	
	12	火	マーケティング計数管理	マーケティング計数管理	
	13	水	マーケティング計数管理演習	マーケティング計数管理演習	
	14	木	マーケティング組織	マーケティング組織	
	15	金	生産財マーケティング	生産財マーケティング	
	16	土	消費財マーケティング	消費財マーケティング	
	17	日			
	18	月	国際マーケティング	国際マーケティング	
	19	火	国際マーケティング	国際マーケティング	
	20	水	マーケティング診断の進め方	マーケティング診断の進め方	
	21	木	人事・労務管理コースガイダンス	人事・労務管理コースガイダンス	
	22	金	人事・労務管理概論	人事・労務管理概論	
	23	土	資格制度の設計と運用	資格制度の設計と運用	
	24	日			
	25	月	人事考課制度	人事考課制度	
	26	火	生産性と教育訓練・能力開発	生産性と教育訓練・能力開発	
	27	水	生産性と教育訓練・能力開発	生産性と教育訓練・能力開発	
	28	木	教育訓練の体系	教育訓練の体系	
	29	金	教育と人事・労務管理	教育と人事・労務管理	
	30	土	教育の進め方と評価	教育の進め方と評価	
	31				

第 4 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　　前	午　　後	摘　要
	1	日			
	2	月	小集団渡動と目標管理・業績評価	小集団活動と目標管理・業績評価	
	3	火	小集団活動と目標管理・業績評価	小集団活動と目標管理・業績評価	
	4	水	人事・労務管理診断の進め方	人事・労務管理診断の進め方	
	5	木	財務管理コースガイダンス	財務管理コースガイダンス	
	6	金	財務管理概論	財務管理概論	
	7	土	管理会計と財務会計	管理会計と財務会計	
	8	日			
	9	月	管理会計と財務会計	管理会計と財務会計	
	10	火	損益分岐点分折	損益分岐点分折	
	11	水	経営指標分折	経営指標分折	
	12	木	経営指標分折	経営指標分折	
	13	金	経営指標分折	経営指標分折	
	14	土	原価計算	原価計算	
	15	日			
	16	月	原価計算	原価計算	
	17	火	原価計算	原価計算	
	18	水	原価管理演習	原価管理演習	
	19	木	資金管理	資金管理	
	20	金	資金管理	資金管理	
	21	土	予算管理	予算管理	
	22	日			
	23	月	予算管理	予算管理	
	24	火	設備投資の経済計算	設備投資の経済計算	
	25	水	設備投資の経済計算	設備投資の経済計算	
	26	木	経済計算の体系と運用	経済計算の体系と運用	
	27	金	経済計算の体系と運用	経済計算の体系と運用	
	28	土	財務管理診断の進め方	財務管理診断の進め方	
	29	日			
	30	月	経営情報システムコースガイダンス	経営情報システムコースガイダンス	
	31				

第 5 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　　前	午　　後	摘　要
	1	火	経営情報システム概論	経営情報システム概論	
	2	水	情報システムの導入と手順	情報システムの導入と手順	
	3	木	事 務 管 理	事 務 管 理	
	4	金	事 務 管 理	事 務 管 理	
	5	土	コンピュータ・システム概論	コンピュータ・システム概論	
	6	日			
	7	月	システム分折・設計の方法	システム分折・設計の方法	
	8	火	システム分折・設計の方法	システム分折・設計の方法	
	9	水	プログラミング	プログラミング	
	10	木	プログラミング	プログラミング	
	11	金	コンピュータ機械実習	コンピュータ機械実習	
	12	土	コンピュータ機械実習	コンピュータ機械実習	
	13	日			
	14	月	コンピュータ機械実習	コンピュータ機械実習	
	15	火	情報システム診断の進め方	情報システム診断の進め方	
	16	水	経営戦略コースガイダンス	経営戦略コースガイダンス	
	17	木	経営戦略概論	経営戦略概論	
	18	金	経営環境と経営戦略	経営環境と経営戦略	
	19	土	経営戦略の理論と方法	経営戦略の理論と方法	
	20	日			
	21	月	経営戦略の理論と方法	経営戦略の理論と方法	
	22	火	長期経営計画の理論と方法	長期経営計画の理論と方法	
	23	水	長期経営計画への策定の実務	長期経営計画への策定の実務	
	24	木	長期経営計画演習	長期経営計画演習	
	25	金	経営戦略と長期経営計画の事例研究	経営戦略と長期経営計画の事例研究	
	26	土	経営戦略診断の進め方	経営戦略診断の進め方	
	27	日			
	28	月	診断実習ガイダンス	診断実習ガイダンス	
	29	火	診断実習準備	診断実習準備	
	30	水	〃　〃	〃　〃	
	31				

第 6 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	木			
	2	金			
	3	土			
	4	日			
	5	月			
	6	火			
	7	水			
	8	木			
	9	金			
	10	土			
	11	日	診断実習	診断実習	
	12	月	（ＩＥ・生産管理、総合）	（ＩＥ・生産管理、総合）	
	13	火			
	14	水			
	15	木			
	16	金			
	17	土			
	18	日			
	19	月			
	20	火			
	21	水			
	22	木			
	23	金			
	24	土			
	25	日			
	26	月			
	27	火			
	28	水			
	29	木	実習評価と診断実習報告書まとめ	実習評価と診断実習報告書まとめ	
	30	金	終講関係	終講関係	
	31				

2) 専門講座 < 教員養成 >

2)－(1) 生産・品質管理（6ヶ月）

第 1 月分時限表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	月	開講関係	開講関係	
	2	火	ＩＥ・生産管理概論	ＩＥ・生産管理概論	
	3	水	ＩＥ・生産管理概論	ＩＥ・生産管理概論	
	4	木	ＩＥ・生産管理概論	ＩＥ・生産管理概論	
	5	金	中国における生産現場の現状と動向	中国における生産現場の現状と動向	中国側講師
	6	土	工程分析	工程分析	
	7	日			
	8	月	工程分析	工程分析	
	9	火	工程分析演習	工程分析演習	
	10	水	工程分析演習	工程分析演習	
	11	木	動作分析	動作分析	
	12	金	動作分析	動作分析	
	13	土	動作分析演習	動作分析演習	
	14	日			
	15	月	動作分析演習	動作分析演習	
	16	火	稼動分析	稼動分析	
	17	水	稼動分析	稼動分析	
	18	木	稼動分析演習	稼動分析演習	
	19	金	稼動分析演習	稼動分析演酒	
	20	土	標準時間の設定	標準時間の設定	
	21	日			
	22	月	標準時間の設定	標準時間の設定	
	23	火	標準時間の設定演習	標準時間の設定演習	
	24	水	標準時間の設定演習	標準時間の設定演習	
	25	木	価値分析	価値分析	
	26	金	価値分析	価値分析	
	27	土	価値分析	価値分析	
	28	日			
	29	月	価値分析演習	価値分析演習	
	30	火	価値分析演習	価値分析演習	
	31	╳			

第 2 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	水	ＩＥ診断の進め方	ＩＥ診断の進め方	
	2	木	診断実習ガイダンス	診断実習ガイダンス	
	3	金	診断実習準備	診断実習準備	
	4	土			
	5	日			
	6	月			
	7	火			
	8	水			
	9	木			
	10	金			
	11	土			
	12	日			
	13	月	診断実習	診断実習	
	14	火			
	15	水			
	16	木			
	17	金			
	18	土			
	19	日			
	20	月			
	21	火			
	22	水			
	23	木			
	24	金			
	25	土			
	26	日			
	27	月			
	28	火			
	29	水			
	30	木	実習評価会と診断実習報告書まとめ	実習評価会と診断実習報告書まとめ	
	31				

第 3 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　　前	午　　後	摘　要
	1	金	生産管理概論	生産管理概論	
	2	土	工 程 管 理	工 程 管 理	
	3	日			
	4	月	工 程 管 理	工 程 管 理	
	5	火	工 程 管 理	工 程 管 理	
	6	水	工 程 管 理	工 程 管 理	
	7	木	工程管理演習	工程管理演習	
	8	金	工程管理演習	工程管理演習	
	9	土	購買・在庫管理	購買・在庫管理	
	10	日			
	11	月	購買・在庫管理	購売・在庫管理	
	12	火	購買・在庫管理	購売・在庫管理	
	13	水	購買・在庫管理演習	購買・在庫管理演習	
	14	木	外 注 管 理	外 注 管 理	
	15	金	外 注 管 理	外 注 管 理	
	16	土	外注管理演習	外注管理演習	
	17	日			
	18	月	原価管理（原価低減）	原価管理（原価低減）	
	19	火	原価管理（原価低減）	原価管理（原価低減）	
	20	水	原価管理（原価低減）	原価管理（原価低減）	
	21	木	原価管理（原価低減）演習	原価管理（原価低減）演習	
	22	金	原価管理（原価低減）演習	原価管理（原価低減）演習	
	23	土	工場設計と運搬管理	工場設計と運搬管理	
	24	日			
	25	月	工場設計と運搬管理	工場設計と運搬管理	
	26	火	工場設計と運搬管理演習	工場設計と運搬管理演習	
	27	水	ＰＥＲＴ	ＰＥＲＴ	
	28	木	ＰＥＲＴ	ＰＥＲＴ	
	29	金	ＰＥＲＴ演習	ＰＥＲＴ演習	
	30	土	生産管理診断の進め方	生産管理診断の進め方	
	31				

第 4 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	日			
	2	月	診断実習ガイダンス	診断実習ガイダンス	
	3	火	診断実習準備	診断実習準備	
	4	水			
	5	木			
	6	金			
	7	土			
	8	日			
	9	月			
	10	火			
	11	水			
	12	木			
	13	金			
	14	土	診断実習	診断実習	
	15	日			
	16	月			
	17	火			
	18	水			
	19	木			
	20	金			
	21	土			
	22	日			
	23	月			
	24	火			
	25	水			
	26	木			
	27	金			
	28	土			
	29	日			
	30	月	実習評価会と診断実習報告書まとめ	実習評価会と診断実習報告書まとめ	
	31				

第 5 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　　前	午　　後	摘　要
	1	火	品質管理概論	品質管理概論	
	2	水	統　計　学	統　計　学	
	3	木	統計学演習	統計学演習	
	4	金	統計的手法	統計的手法	
	5	土	統計的手法	統計的手法	
	6	日			
	7	月	統計的手法	統計的手法	
	8	火	統計的手法演習	統計的手法演習	
	9	水	統計的手法演習	統計的手法演習	
	10	木	標　準　化	標　準　化	
	11	金	標　準　化	標　準　化	
	12	土	標準化演習	標準化演習	
	13	日			
	14	月	品　質　保　証	品　質　保　証	
	15	火	品　質　保　証	品　質　保　証	
	16	水	検　　査	検　　査	
	17	木	検　　査	検　　査	
	18	金	検　査　演　習	検　査　演　習	
	19	土	管　理　図　法	管　理　図　法	
	20	日			
	21	月	管　理　図　法	管　理　図　法	
	22	火	管理図法演習	管理図法演習	
	23	水	管理図法演習	管理図法演習	
	24	木	品質改善と管理手法	品質改善と管理手法	
	25	金	品質改善と管理手法	品質改善と管理手法	
	26	土	品質改善と管理手法演習	品質改善と管理手法演習	
	27	日			
	28	月	小集団活動	小集団活動	
	29	火	小集団活動	小集団活動	
	30	水	品質管理診断の進め方	品質管理診断の進め方	
	31				

第 6 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	木	診断実習ガイダンス	診断実習ガイダンス	
	2	金	診断実習準備	診断実習準備	
	3	土			
	4	日			
	5	月			
	6	火			
	7	水			
	8	木			
	9	金			
	10	土			
	11	日			
	12	月			
	13	火	診断実習	診断実習	
	14	水			
	15	木			
	16	金			
	17	土			
	18	日			
	19	月			
	20	火			
	21	水			
	22	木			
	23	金			
	24	土			
	25	日			
	26	月			
	27	火			
	28	水			
	29	木	実習評価会と診断実習報告書まとめ	実習評価会と診断実習報告書まとめ	
	30	金	終講関係	終講関係	
	31				

2)－(2) 財　務　管　理（6ヶ月）

第 1 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　前	午　後	摘　要
	1	月	開講関係	開講関係	
	2	火	財務管理概論	財務管理概論	
	3	水	中国における企業の財務と動向	中国における企業の財務と動向	中国側講師
	4	木	生産性と財務理論	生産性と財務理論	
	5	金	生産性測定論	生産性測定論	
	6	土	生産性向上策と財務管理	生産性向上策と財務管理	
	7	日			
	8	月	簿記（商業簿記、工業簿記）	簿記（商業簿記、工業簿記）	
	9	火	簿記（商業簿記、工業簿記）	簿記（商業簿記、工業簿記）	
	10	水	簿記（商業簿記、工業簿記）	簿記（商業簿記、工業簿記）	
	11	木	会計（理論、連結会計、インフレ会計）	会計（理論、連結会計、インフレ会計）	
	12	金	会計（理論、連結会計、インフレ会計）	会計（理論、連結会計、インフレ会計）	
	13	土	会計（理論、連結会計、インフレ会計）	会計（理論、連結会計、インフレ会計）	
	14	日			
	15	月	実際原価計算	実際原価計算	
	16	火	実際原価計算	実際原価計算	
	17	水	実際原価計算	実際原価計算	
	18	木	標準原価計算	標準原価計算	
	19	金	標準原価計算	標準原価計算	
	20	土	標準原価計算	標準原価計算	
	21	日			
	22	月	直接原価計算	直接原価計算	
	23	火	直接原価計算	直接原価計算	
	24	水	直接原価計算	直接原価計算	
	25	木	原価計算システム	原価計算システム	
	26	金	原価計算システム	原価計算システム	
	27	土	収益性分析	収益性分析	
	28	日			
	29	月	収益性分析	収益性分析	
	30	火	収益性分析	収益性分析	
	31				

第 2 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　　前	午　　後	摘　要
	1	水	流動性分析	流動性分析	
	2	木	流動性分析	流動性分析	
	3	金	流動性分析	流動性分析	
	4	土	生産性分析	生産性分析	
	5	日			
	6	月	生産性分析	先産性分析	
	7	火	生産性分析	先産性分析	
	8	水	経営計画	経営計画	
	9	木	経営計画	経営計画	
	10	金	経営計画	経営計画	
	11	土	長期、短期利益計画	長期、短期利益計画	
	12	日			
	13	月	長期、短期利益計画	長期、短期利益計画	
	14	火	長期、短期資金計画	長期、短期資金計画	
	15	水	長期、短期資金計画	長期、短期資金計画	
	16	木	長期、短期資金計画	長期、短期資金計画	
	17	金	需要予測	需要予測	
	18	土	需要予測	需要予測	
	19	日			
	20	月	経済予測	経済予測	
	21	火	技術予測	技術予測	
	22	水	技術予測	技術予測	
	23	木	統計学	統計学	
	24	金	統計学	統計学	
	25	土	設備投資の経済計算	設備投資の経済計算	
	26	日			
	27	月	設備投資の経済計算	設備投資の経済計算	
	28	火	設備投資の経済計算	設備投資の経済計算	
	29	水	経済計算シュミレーション	経済計算シュミレーション	
	30	木	経済計算シュミレーション	経済計算シュミレーション	
	31	╳			

第 3 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	金	販売計画	販売計画	
	2	土	在庫計画	在庫計画	
	3	日			
	4	月	生産計画	生産計画	
	5	火	設備計画	設備計画	
	6	水	設備計画	設備計画	
	7	木	設備計画	設備計画	
	8	金	要員計画	要員計画	
	9	土	財務診断の進め方(1)	財務診断の進め方(1)	
	10	日			
	11	月	診断実習ガイダンス	診断実習ガイダンス	
	12	火	診断実習準備	診断実習準備	
	13	水			
	14	木			
	15	金			
	16	土			
	17	日			
	18	月			
	19	火			
	20	水			
	21	木	第1次診断実習	第1次診断実習	
	22	金			
	23	土			
	24	日			
	25	月			
	26	火			
	27	水			
	28	木			
	29	金			
	30	土			
	31				

第 4 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前		午後		摘要
	1	日					
	2	月					
	3	火					
	4	水					
	5	木					
	6	金					
	7	土		第1次診断実習		第1次診断実習	
	8	日					
	9	月					
	10	火					
	11	水					
	12	木					
	13	金					
	14	土					
	15	日					
	16	月					
	17	火					
	18	水					
	19	木					
	20	金					
	21	土					
	22	日					
	23	月					
	24	火	実習評価会と診断実習報告書まとめ		実習評価会と診断実習報告書まとめ		
	25	水	原価管理システム		原価管理システム		
	26	木	原価管理システム		原価管理システム		
	27	金	原価管理システム		原価管理システム		
	28	土	業績評価システム		業績評価システム		
	29	日					
	30	月	業績評価システム		業績評価システム		
	31						

第 5 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	火	業績評価システム	業績評価システム	
	2	水	企画機能におけるコストダウン	企画機能におけるコストダウン	
	3	木	開発、設計におけるコストダウン	開発、設計におけるコストダウン	
	4	金	開発、設計におけるコストダウン	開発、設計におけるコストダウン	
	5	土	購買、外注におけるコストダウン	購買、外注におけるコストダウン	
	6	日			
	7	月	製造現場におけるコストダウン	製造現場におけるコストダウン	
	8	火	検査、品質におけくコストダウン	検査、品質におけるコストダウン	
	9	水	検査、品質におけるコストダウン	検査、品質におけるコストダウン	
	10	木	エネルギーにおけるコストダウン	エネルギーにおけるコストダウン	
	11	金	販売におけるコストダウン	販売におけるコストダウン	
	12	土	物流におけるコストダウン	物流におけるコストダウン	
	13	日			
	14	月	財務診断の進め方(2)	財務診断の進め方(2)	
	15	火	診断実習ガイダンス	診断実習ガイダンス	
	16	水	診断実習準備	診断実習準備	
	17	木	↑	↑	
	18	金			
	19	土			
	20	日			
	21	月			
	22	火			
	23	水	第2次診断実習	第2次診断実習	
	24	木			
	25	金			
	26	土			
	27	日			
	28	月			
	29	火			
	30	水			
	31	╳			

第 6 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前		午後		摘要
	1	木					
	2	金					
	3	土					
	4	日					
	5	月					
	6	火					
	7	水					
	8	木					
	9	金					
	10	土		第2次診断実習		第2次診断実習	
	11	日					
	12	月					
	13	火					
	14	水					
	15	木					
	16	金					
	17	土					
	18	日					
	19	月					
	20	火					
	21	水					
	22	木					
	23	金					
	24	土					
	25	日					
	26	月					
	27	火					
	28	水					
	29	木	実習評価会と診断実習報告書まとめ		実習評価会と診断実習報告書まとめ		
	30	金	終講開係		終講関係		
	31						

2)－(3) マーケッティング（6ケ月）

第 1 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　　前	午　　後	摘　要
	1	月	開講関係	開講関係	
	2	火	マーケティン概論	マーケティング概論	
	3	水	中国における市場動向	中国における市場動向	中国側講師
	4	木	中国における市場動向	中国における市場動向	中国側講師
	5	金	データーのとりまとめ —	データーのとりまとめ — 度数分布	
	6	土	データーのとりま　め — 統計的記述	データーのとりまとめ — 統計的記述	
	7	日			
	8	月	データーのとりまとめ — 指数	データーのとりまとめ — 指数	
	9	火	確率と確率分布	確率と確率分布	
	10	水	確率と確率分布	確率と確率分布	
	11	木	標本抽出と標本分布	標本抽出と標本分布	
	12	金	推定と検定	推定と検定	
	13	土	推定と検定	推定と検定	
	14	日			
	15	月	分散分析	分散分析	
	16	火	回帰と相関	回帰と相関	
	17	水	回帰と相関	回帰と相関	
	18	木	時系列分析	時系列分析	
	19	金	時系列分析	時系列分析	
	20	土	マーケティングリサーチの計画—標本抽出、標本設計	マーケティングリサーチの計画—標本抽出、標本設計	
	21	日			
	22	月	マーケティングリサーチの計画—層化抽出、割当抽出等	マーケティングリサーチの計画—層化抽出、割当抽出等	
	23	火	マーケティング・モデルとシステム	マーケティング・モデルとシステム	
	24	水	マーケティング・モデルとシステム	マーケティング・モデルとシステム	
	25	木	マーケティング管理とマーケティング概念	マーケティング管理とマーケティング概念	
	26	金	マーケティング管理とマーケティング概念	マーケティング管理とマーケティング概念	
	27	土	市場研究 — 国内消費市場	市場研究 — 国内消費市場	
	28	日			
	29	月	市場研究 — 国内業務用市場	市場研究 — 国内業務用市場	
	30	火	市場研究 — 国際市場	市場研究 — 国際市場	
	31	╳			

第 2 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　　前	午　　後	摘　要
	1	水	市場研究 ― 国際市場	市場研究 ― 国際市場	
	2	木	市場測定と予測	市場測定と予測	
	3	金	予測と予測方法	予測と予測方法	
	4	土	予測と予測方法	予測と予測方法	
	5	日			
	6	月	市場のセグメンテーションとマーケティング戦略	市場のセグメンテーションとマーケティング戦略	
	7	火	市場のセグメンテーションとマーケティング戦略	市場のセグメンテーションとマーケティング戦略	
	8	水	市場調査の企画・実施・分折	市場調査の企画・実施・分折	
	9	木	市場調査の実務 ― 手法	市場調査の実務 ― 手法	
	10	金	市場調査の実務 ― ステップ	市場調査の実務 ― ステップ	
	11	土	市場調査の実務 ― 分折方法	市場調査の実務 ― 分折方法	
	12	日			
	13	月	消費者行動の理論	消費者行動の理論	
	14	火	消費者行動の調査技法	消費者行動の調査技法	
	15	水	消費者行動の分折モデル	消費者行動の分折モデル	
	16	木	製品計画概論ーマーケティングを製品計画	製品計画概論ーマーケティングを製品計画	
	17	金	製品管理ーミックス、周期、管理	製品管理ーミックス、周期、管理	
	18	土	製品計画と新製品開発ー新製品開発のステップ	製品計画と新製品開発ー新製品開発のステップ	
	19	日			
	20	月	新製品開発の市場導入	新製品開発の市場導入	
	21	火	新製品の採用と普及	新製品の採用と普及	
	22	水	価　格　政　策	価　格　政　策	
	23	木	価　格　政　策	価　格　政　策	
	24	金	流通機構と流通政策	流通機構と流通政策	
	25	土	流通チャンネルの設計・構築	流通チャンネルの設計・構築	
	26	日			
	27	月	流通チャンネルの維持、管理	流通チャンネルの維持、管理	
	28	火	物流管理と物流の諸活動	物流管理と物流の諸活動	
	29	水	物流管理と物流の諸活動	物流管理と物流の諸活動	
	30	木	物流システムの分折と設計	物流システムの分折と設計	
	31				

第 3 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前		午後		摘要
	1	金	物流システムの分折と設計		物流システムの分折と設計		
	2	土	物流システムの実際		物流システムの実際		
	3	日					
	4	月	マーケティング診断の進め方(1)		マーケティング診断の進め方(1)		
	5	火	診断実習ガイダンス		診断実習ガイダンス		
	6	水	診断実習準備		診断実習準備		
	7	木					
	8	金					
	9	土					
	10	日					
	11	月					
	12	火					
	13	水					
	14	木					
	15	金					
	16	土					
	17	日		第1次診断実習		第1次診断実習	
	18	月					
	19	火					
	20	水					
	21	木					
	22	金					
	23	土					
	24	日					
	25	月					
	26	火					
	27	水					
	28	木					
	29	金					
	30	土					
	31						

第 4 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前		午後		摘要
	1	日					
	2	月					
	3	火					
	4	水					
	5	木					
	6	金					
	7	土		第1次診断実習		第1次診断実習	
	8	日					
	9	月					
	10	火					
	11	水					
	12	木					
	13	金					
	14	土					
	15	日					
	16	月					
	17	火					
	18	水	実習評価会と診断実習報告書まとめ		実習評価会と診断実習報告書まとめ		
	19	木	広告管理概論 ーマーケティングと広告		広告管理概論 ーマーケティングと広告		
	20	金	広告計画と管理		広告計画と管理		
	21	土	広告計画と管理		広告計画と管理		
	22	日					
	23	月	販売管理概論		販売管理概論		
	24	火	販売管理と販売員管理		販売管理と販売員管理		
	25	水	販売計画のたて方		販売計画のたて方		
	26	木	販売割当、販売予算、販売活動の管理		販売割当、販売予算、販売活動の管理		
	27	金	販売促進概論ーコミュニケーションとプロモーション		販売促進概論ーコミュニケーションとプロモーション		
	28	土	プロモーション・ミックス		プロモーション・ミックス		
	29	日					
	30	月	販売促進ー計画と展開		販売促進ー計画と展開		
	31	╳					

第 5 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前		午後		摘要
	1	火	国際マーケティング概論		国際マーケティング概論		
	2	水	国際マーケティング―世界企業の戦略と組織		国際マーケティング―世界企業の戦略と組織		
	3	木	国際マーケティング―管理と展開		国際マーケティング―管理と展開		
	4	金	国際マーケティング―地域研究(1)		国際マーケティング―地域研究(1)		
	5	土	国際マーケティング―地域研究(2)		国際マーケティング―地域研究(2)		
	6	日					
	7	月	国際マーケティング―地域研究(3)		国際マーケティング―地域研究(3)		
	8	火	マーケティング戦略とマーケティング計画		マーケティング戦略とマーケティング計画		
	9	水	マーケティング戦略とマーケティング計画		マーケティング戦略とマーケティング計画		
	10	木	マーケティング戦略とマーケティング計画		マーケティング戦略とマーケティング計画		
	11	金	マーケティングの事例研究		マーケティングの事例研究		
	12	土	マーケティングの事例研究		マーケティングの事例研究		
	13	日					
	14	月	マーケティングの事例研究		マーケティングの事例研究		
	15	火	マーケティング診断の進め方		マーケティング診断の進め方		
	16	水	診断実習ガイダンス		診断実習ガイダンス		
	17	木	診断実習準備		診断実習準備		
	18	金	↑		↑		
	19	土					
	20	日					
	21	月					
	22	火					
	23	水					
	24	木		第2次マーケティング診断実習		第2次マーケティング診断実習	
	25	金					
	26	土					
	27	日					
	28	月					
	29	火					
	30	水					
	31	╳					

第 6 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	木			
	2	金			
	3	土			
	4	日			
	5	月			
	6	火			
	7	水			
	8	木			
	9	金			
	10	土	第2次診断実習	第2次診断実習	
	11	日			
	12	月			
	13	火			
	14	水			
	15	木			
	16	金			
	17	土			
	18	日			
	19	月			
	20	火			
	21	水			
	22	木			
	23	金			
	24	土			
	25	日			
	26	月			
	27	火			
	28	水			
	29	木	実習評価会と診断実習報告書のまとめ	実習評価会と診断実習報告書のまとめ	
	30	金	終講関係	終構関係	
	31				

2)－(4) 経営情報システム(3ケ月)

第 1 月分時限表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	月	開講関係	開講関係	
	2	火	経営情報システム概論	経営情報システム概論	
	3	水	経営情報システム概論	経営情報システム概論	
	4	木	経営情報システム概論	経営情報システム概論	
	5	金	経営情報システム概論	経営情報システム概論	
	6	土	中国における経営情報システムの現状と動向	中国における経営情報システムの現状と動向	中国側講師
	7	日			
	8	月	事務管理	事務管理	
	9	火	事務管理	事務管理	
	10	水	事務管理	事務管理	
	11	木	事務管理	事務管理	
	12	金	事務管理演習	事務管理演習	
	13	土	事務管理演習	事務管理演習	
	14	日			
	15	月	情報システムの導入計画と手順	情報システムの導入計画と手順	
	16	火	情報システムの導入計画と手順	情報システムの導入計画と手順	
	17	水	情報システムの導入計画と手順	情報システムの導入計画と手順	
	18	木	情報システムの導入計画と手順	情報システムの導入計画と手順	
	19	金	情報システムの導入計画と手順演習	情報システムの導入計画と手順演習	
	20	土	情報システム基礎設計	情報システム基礎設計	
	21	日			
	22	月	情報システム基礎設計	情報システム基礎設計	
	23	火	情報システム基礎設計	情報システム基礎設計	
	24	水	情報システム基礎設計演習	情報システム基礎設計演習	
	25	木	情報システム基礎設計演習	情報システム基礎設計演習	
	26	金	情報システム詳細設計	情報システム詳細設計	
	27	土	情報システム詳細設計	情報システム詳細設計	
	28	日			
	29	月	情報システム詳細設計	情報システム詳細設計	
	30	火	情報システム詳細設計演習	情報システム詳細設計演習	
	31				

第 2 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　　前	午　　後	摘　要
	1	水	情報システム詳細設計演習	情報システム詳細設計演習	
	2	木	オフィスオートメーション	オフィスオートメーション	
	3	金	オフィスオートメーション	オフィスオートメーション	
	4	土	コンピュータ言語	コンピュータ言語	
	5	日			
	6	月	コンピュータ言語	コンピュータ言語	
	7	火	コンピュータ言語	コンピュータ言語	
	8	水	コンピュータ言語	コンピュータ言語	
	9	木	コンピュータ言語	コンピュータ言語	
	10	金	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	11	土	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	12	日			
	13	月	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	14	火	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	15	水	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	16	木	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	17	金	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	18	土	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	19	日			
	20	月	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	21	火	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	22	水	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	23	木	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	24	金	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	25	土	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	26	日			
	27	月	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	28	火	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	29	水	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	30	木	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	31	╳			

第 3 月 分 時 限 表

月	日	曜	午　　前	午　　後	摘　要
	1	金	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	2	土	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	コンピュータ機械演習～プログラミングからランまで～	
	3	日			
	4	月	経営情報システム診断の進め方	経営情報システム診断の進め方	
	5	火	教営情報システム診断の進め方	経営情報システム診断の進め方	
	6	水	診断実習ガイダンス	診断実習ガイダンス	
	7	木	診断実習準備	診断実習準備	
	8	金	↑	↑	
	9	土			
	10	日			
	11	月			
	12	火			
	13	水			
	14	木			
	15	金			
	16	土			
	17	日			
	18	月	診断実習	診断実習	
	19	火			
	20	水			
	21	木			
	22	金			
	23	土			
	24	日			
	25	月			
	26	火			
	27	水			
	28	木			
	29	金			
	30	土			
	31	╳			

第 4 月 分 時 限 表

月	日	曜	午前	午後	摘要
	1	日	診断実習	診断実習	
	2	月			
	3	火			
	4	水			
	5	木			
	6	金			
	7	土	実習評価会と診断実習報告書まとめ	実習評価会と診断実習報告書まとめ	
	8	日	終講関係	終講関係	
	9	月			
	10	火			
	11	水			
	12	木			
	13	金			
	14	土			
	15	日			
	16	月			
	17	火			
	18	水			
	19	木			
	20	金			
	21	土			
	22	日			
	23	月			
	24	火			
	25	水			
	26	木			
	27	金			
	28	土			
	29	日			
	30	月			
	31				

3) 経営管理総合コース …… （２７５日）

（コンサルタントコース）

オリエンテーション …… １８日

中国経済の現状と課題

中国の経済政策と企業管理の課題

企業組の革新と開発

中小企業論・国際比較・施策

経　営　教　学

経営コンサルティング論

ＩＥ・生産管理 …… ５０日

方　法　研　究

作　業　研　究

ワークサンプリング

工　程　管　理

資材・購売・外注管理

運　搬　管　理

価　値　分　析

工　場　実　習

マーケッティング …… ２５日

市場製品政策

販売経路政策

販売促進事例研究

物的流通管理

マーケッティング計数管理

マーケッティング計画・統制

生産材・消費材マーケッティング

国際マーケッティング

マーケッティング事例研究

マーケッティング診断の進め方

人事・労務管理 …… ２５日

中国労働経済の動向と政策

資格制度の設計と運用

職務分析と職務・職能評価

課　外　研　究

人事考課制度

生産性と成果配分

課　外　研　究

教育訓練体系

教育と人事管理

小集団活動と目標管理・業績評価

人事管理診断の進め方

第1次綜合診断実習 …… 15日

診　断　実　習

診断報告書作成

財　務　管　理 …… 30日

経営と財務管理

管理会計と財務会計

損益分岐点分析と演習

課　外　研　究

原　価　管　理

利益管理と利益計画

予　算　管　理

設備投資の経済計算

等価の原則・事例研究

設備投資の計画

財務診断の進め方

第2次綜合診断実習 …… 15日

診　断　実　習

診断報告書作成

情報システム …… 35日

経営情報システム概論

経営情報システム導入手順と方法

情報システム導入事例研究

コンピューターシステム概論・構成

システム分析・設計の方法

システム分析・設計演習

プログラミング演習

コンピューター実習

課　外　研　究

情報システム事例研究

情報システム診断の進め方

課　外　研　究

第3次綜合診断実習 …… 15日

診　断　実　習

診断報告作成

経　営　戦　略 …… 30日

経営環境の予測と分析

産業構造と組織論

企業と社会の規範

課　外　研　究

国際経済の分析・戦略

企業能力の評価

経営戦略理論と方法

意　志　決　定

短期・長期経営計画の策定

課　外　研　究

課外研究発表と討論会

第4次綜合診断実習 …… 15日

診　断　実　習

診断報告作成

最終特別講義 …… 2日

4) 専門家養成コース

4)－(1) 生産品質管理専門コース …… （７５日）

ワークスタディー …… ２５日

工　程　分　析

稼　働　分　析

時間分析・ＰＴＳ法

動　作　分　析

問題解の技法

標準時間設定

生産管理応用 …… １０日

価　値　分　析

工　程　管　理

購売・外注管理

原　価　原　理

プラントエンジニアリング …… ７日

プラントレイアウト

ＰＥＲＴ法

工　場　計　画

統計的手法 …… ７日

データのとり方まとめ方

分散の検定推定

分　散　分　析

計数値の分析

標　　準　　化 …… ３日

工程の標準化

標準化の組織

工　場　規　格

標準化の運用

品質保証・検査 …… ５日

品質保証の情報

品　質　の　設　計

サンプリング

技　取　検　査

管　理　図　法 …… 3日

管理図の作り方・使い方

工程解析のための管理図

工程管理のための管理図

品質改善と管理手法 …… 3日

品質管理組織

品質管理の機能

小集団活動 …… 2日

小集団活動の意義と方法

小集団活動の背景

工　場　実　習 …… 10日

ＩＥ・ＱＣ関係稼合実習

4)－(2)　財務管理専門コース …… （75日）

財　務　会　計 …… 20日

中国に於ける企業の財務と動向

生産性と財務理論

商　業　簿　記

工　業　簿　記

会計（理論、連結会計、インフレ会計）

実際原価計算

標準原価計算

直接原価計算

原価計算システム

損　益　分　析 …… 8日

収　益　分　析

流　動　分　析

生　産　性　分　析

利　　計　画 …… 10日

経　営　計　画

長期・短期利益計画

需 要 予 測

経 済 予 測

技 術 予 測

経 済 計 算 …… 7日

統 計 学

設備投資の経済計算

経済計算のシュミレーション

販 売 計 画 …… 7日

生 産 計 画

設 備 計 画

要 員 計 画

原 価 管 理 …… 13日

原価管理システム

原価評価システム

業績評価システム

企画機能におけるコストダウン

開発設計 〃 〃

購買外注 〃 〃

製造現場 〃 〃

検査・品質 〃 〃

エネルギー、販売、物流におけるコストダウン

現 場 実 習 …… 10日

4)－(3) マーケッティング専門コース …… (75日)

マーケッティング計数管理 …… 12日

中国に於ける市場の動向

データのとり方・まとめ方(度数・統計・指数)

確率と確率分布

標本抽出と標本分布

推 定 と 検 定

回 帰 と 相 関

時 系 列 分 析

マーケッティングリサーチ …… 4日

マーケッティングリサーチの計画

マーケッティングモデルシステム

マーケッティング管理と概念

市　場　政　策 …… 7日

市場研究―国内市場―

市場研究―国際市場―

市場研究と予測

市場のセグメンテーションとマーケッティング戦略

市場調査の企画・実施・分析

市場調査の実務

消　費　動　向 …… 6日

消費者行動の理論

〃　〃 の調査技法

マーケッティングと製品設計

製品計画管理・開発

新製品開発と流通 …… 8日

新製品開発の市場導入

価　格　政　策

流通機構と政策

流通チャンネルの設計・構義

物　流　管　理

販　売　促　進 …… 8日

広告計画と管理

販売管理と販売員管理

販　売　促　進

マーケッティング戦略 …… 10日

国際マーケッティング戦略

〃　〃　管理と展開

〃　〃　地域研究

マーケッティング戦略と計画

マーケッティング事例研究

現　場　実　習 …… 20日

4) ―(4) 情報システム専門コース ……（７５日）

経営情報システム …… ６日

経営情報システム概論

中国における情報システムの現状と動向

事　務　管　理 …… ６日

事務工程分析

事務工程分析演習

事　務　管　理

情報システム導入計画 …… １７日

情報システム導入計画の手順

〃　　〃　　演習

情報システムの基礎設計

情報システムの基礎演習

情報システムの詳細設計

〃　　〃　　演習

オフィスオートメーション

コンピューターシステム …… ２６日

コンピューター言語

コンピュータープログラミング

コンピューター機械実習

現　場　実　習 …… ２０日

5) トップマネジメントコース ……（１５０日）

経済・生産性の理論と課題 …… １０日

中国経済の現状と今後の課題

中国の経済政策と産業構造

生産性の理論と産業構造

生産性と能力開発

生産性と経営組織

経営管理 …… １５日

企業環境と企業行動

企業組織論

企業経営と意志決定

生産性と成果配分

価値生産性と物的生産性

問題解決の技法

生産管理 …… ２０日

方法研究

作業測定

工程管理

計画管理（ＰＥＲＴ，Program Evaluation，and Review Technique）

資材・購売・管理

在庫・外注管理

価値分析

工場設計

運搬管理

品質管理 …… １０日

統計的品質管理

工程の標準化

標準化の運用

サンプリング

品質保証

管理図法

品質管理組織と機能

マーケッティング …… ２０日

製品市場市略

販　売　促　進

物的流通管理

生産財・消費財のマーケッティング

広告政策と人的販売

国際マーケッティング

第１次現場実習 …… １０日

人　事　労　務 …… １５日

人事考課制度

生産性と教育訓練・能力開発

教育訓練体系

教育と人事・労務管理

教育の進め方と評価

小集団活動と目標管理・業績評価

財　務　管　理 …… ２０日

管理会計と財務会計

経営指標分析

原　価　管　理

資　金　管　理

予　算　管　理

設備投資の経済計算

経済計算体系

経済計算の運用

経営情報システム …… ７日

情報システムの導入と手順

事　務　管　理

システムの分析と設計法

コンピューターシステム

オフィスオートメーション

経　営　戦　略 …… ８日

経営環境と経営戦略

経営戦略の理論

長期経営計画の理論と方法

経営戦略事例研究

長期経営計画事例研究

第２次現場実習 …… １０日

全般の綜合整理 …… ５日

特　別　講　義

実習報告書作成

実習成果、今後の方針まとめ

7) 受講要件及び育成目標

講座名		受講者の資格及び要件	卒業者に期待する能力（教育達成目標）
経営管理綜合コース（コンサルタントコース）		① 大学及びこれに準ずる教育を受け、企業などで管理職務の経験を有する者。	経営管理全般について現状を分析及び解析する能力を具備せしめ、かつこれに基づいて企業の改善案を作成する能力を養成することによって、①自社の経営について管理改善のスタッフとして改善案の立案および推進、綜合的企業診断を行う。②企業管理協会などの計画による、他企業の綜合的企業診断を行う。
専門家養成コース	生産・品質管理	① 大学の理工系学部又は、これに準ずる教育を受け、企業などでの実務経験（3年以上）を有する者又は、 ② 企業などで生産管理に長年の経験を有する者。	生産性及び品質の管理改善についての分析を行い、改善案の立案を行う能力を養成し、出身企業内あるいは企業管理協会などの計画による他企業の生産・品質管理分野での診断・指導を行う。
	財務管理	① 大学又は之に準ずる教育を受け、企業で当該分野の実務経験（3年以上）を有する者又は ② 企業などで当該分野にて長年の経験を有する者	同上中専門分野を左記の項目とする。
	マーケッティング	① 大学又はこれに準ずる教育を受け、企業で当該分野の実務経験（3年以上）を有する者又は ② 企業などで当該分野にて長年の経験を有する者	同　上
	情報管理	① 大学の理工系学部又は、これに準ずる教育を受け企業などの実務経験（3年以上）を有する者又は、 ② 企業などが将来の情報管理の要員として育成せしめたい者。	同　上
トップマネジメントコース		工場長、副工場長及びこれに準ずる管理者。	生産管理、財務管理、マーケッティング、経営戦略など経営管理に必要な手法を全般的に理解し、大局的な見地から経営方針を策定する能力を具備せしめる。

5　必要機材の検討

1）事前調査後の検討

事前調査の際に中国側から出された要望に、その後の教育構想を加えた結果必要と考えられる教育用機材と、その概算金額を示すと表Aのごとくである。

2）長期調査後の検討

長期調査の際に中国側が示した希望と、上記の事前調査を基本とする教育用機材とを対比して若干の検討を加えると表Bのごとくである。

A　表

注）レ印は小計欄を参照。
¥印は数量変更　　単位；千円

	項目 / 機材名	57年2月に出された希望			前期分（案）				後期分（案）		備考
			単価（千円）	金額（千円）	開講時に必要分 数量	開講時に必要分 金額（千円）	前期分合計 数量	前期分合計 金額（千円）	数量	金額（千円）	
1	512K中速管理教育用コンピューター（20端末機付）	レ	(40,000 ~50,000)	（後述）							
2	同時通訳イヤホーン200コ付4言語用	1組	7,200	7,200			1組	7,200	—		
3	テレビ24台付ビデオシステム	1組	960	960			1組	960	—		
4	大スクリーン（大インチ）テレビディスプレー	2台	875	1,750	2台	レ 1,750	2台	1,750	—		
5	ビデオ録画機	2組	525	1,050			2組	1,050	—		
6	OHP投影用紙作成機械及びそのコピー機	1台	250	250	1台	250	1台	250	—		
7	スライドフィルム作成機	1組	250	250			1組	250	—		
8	オートスライド機	¥10台	230	2,300	2台	460	3台	690	2台	460	
9	OHP	20台	160	3,200	3台	480	5台	800	15台	2,400	
10	固定式スクリーン（スクリーン）	¥25基	64	1,600	2基	128	5基	320	10基	640	
11	カセットテープ急速複製機	1台	800	800			1台	800	—		
12	ゼロックス	3台	250	750					3台	750	
13	拡大縮少可能ゼロックス	¥ 1台	2,800	2,800	1台	2,800	3台	8,400	—		
14	大型自動分類複写機	1台	2,800	2,800					1台	2,800	
15	ステレオ拡声器	1組	290	290					1組	290	
16	無線マイク（ワイヤレスマイク）	¥20組	625	12,500	1組	625	2組	1,250	4組	2,500	
17	映画映写機（8㎜、16㎜）	各2台	1,700	3,400	各1台	レ 1,700	各2台	3,400	—		
18	映画撮影機（8㎜、16㎜）	各2台	1,250	2,500			各1台	1,250	各1台	1,250	
19	タイプライター（日英独仏）	各1台	3,500	3,500	日英各1台	1,000	日英各1台	1,000	独仏各1台	2,500	
20	写真現像引伸機	1組	150	150	1組	レ 150	1組	150	—		

項目 / 機材名		57年2月に出された希望 数量	単価（千円）	金額（千円）	前期分（案） 開講時に必要分 数量	金額（千円）	前期分合計 数量	金額（千円）	後期分（案） 数量	金額（千円）	備考
21	ビデオテープ	¥500個	5	2,500	10個	レ 50	20個	100	230個	1,150	
22	①管理教育用ビデオテープ	若干数	100	2,000	5組	レ 500	10組	1,000	残全部	1,000	
	②カセットテープ、スライド等	〃	80	4,000	10組	800	30組	2,400	残全部	1,600	
	③管理テキスト・書籍・雑誌	¥〃	4	8,600		（後述）	15種×30人 10種×5人×4回	2,600	15種1組 500人×2回＝1000人 1500人×2組	8,000	
23	30人用言語訓練設備	1組	12,300	12,300					1組	12,300	
24	車輌，24席中型車	1輌	2,710	2,710	1輌	レ 2,700	1輌	2,710	—		
25	車輌，小型車（配車用）	2輌	815	1,630	1輌	815	1輌	815	1輌	815	
26	車輌，貨客両車用（ライトバン）	1輌	900	900			1輌	900	—		
27	クーラー設備	レ	(51,000)	レ(後述)					—		
28	マイコン	—	1,300	—	2台	2,600	5台	6,500	—		
29	テープレコーダー	—	60	—	2台	120	2台	120	—		
30	メモモーション装置	—	100	—			2台	200	—		
31	カメラ（レンズ2種付）	—	80	—	1台	80	2台	160	—		
32	黒板	—	10	—	5面	50	20面	200	20面	200	
33	図書室用保管参考書	—		—	50種	200	200種	800	300種	3,200	
34	用紙類	—	—	—	各種	300	各種	1,500	各種	3,000	
35	フィルム各種	—	—	—	各種	50	各種	100	各種	500	
36	ストップウオッチ	—	11	—	50個	550	50個	550	100個	1,100	
37	観測板	—	10	—	30枚	300	30枚	300	100枚	1,000	
38	教室用大時計	—	5	—	5個	25	10個	50	10個	50	
	小計			82,690	（レ除外の場合	11,633） 18,483		50,525			
39	経営管理基礎講座（6ケ月）用テキスト（JPC）	—	?	—		?					
(1)	512K中速管理教育用コンピューター	1組	45,000	45,000		—		—			
(27)	クーラー設備（教室・宿舎）	1残り	51,000	51,000		—		—			
					（レ除外の場合	11,633）					
	総計			178,690		18,483 但テキスト代別		50,525 前.後期総計＝98,030千円		47,505	

B　表

注）　※は事前調査の際には要望のなかったもの。

長期調査	事前調査との対比		
機材について（57年11月6日天津での会談速記）	事前調査の項目との対応	事前調査後の参考見積金額	備考
		（千円）	
1. 教育用機材			
1.1 管理教育用計算機			
教育任務を達成できねばよい。 マイコンの大型位のものにて可。	No.28. マイコン5台として計上	6,500	
1.2 オーディ、ビデオの視聴覚室（システム）			
① ビデオ撮映機	No.5. ビデオ録画機（2組）	1,050	
② 〃 複製機			※
③ ビデオテープモニター	No.3.4 ビデオシステム（1組）、大型ディプレー（2台）	2,710	
④ OHP	No.9. OHP（20台）	3,200	
⑤ 視聴覚1セット	No.17. 映画映写機（各2台）、ステレオ拡声機（1組）	2,790	※
⑥ 調節機材			
1.3 同時通訳200セット（4言語、前回資料参照のこと）	No.2. 同時通訳イヤホーン200個付4言語（1組）	7,200	
1.4 30名用言語訓練器	No.23. 30人用言語訓練設備（1組）	12,300	
1.5 スライドフィルム作成設備	No.7. スライドフィルム作成機（1組）	250	
1.6 レンズ交換のできるカメラ	No.31. カメラ（レンズ2種付）	160	
1.7 カラーフィルム製作機材（現像設備一式）	事前調査時には計上なし		※
1.8 OHPフィルム作成複写機	No.6. OHP投影用紙作成機械とそのコピー機（1台）	250	
1.9 テープを付属するスライド	No.8. オートスライド機（5台）	1,150	
1.10 映画の撮映設備	No.18. 映画撮映機（8㎜、16㎜）各2台	1,250	
1.11 撮映フィルム作成機（編集用機材）	事前調査時には計上なし		※
2. 教育用事務設備			
2.1 複写機 普通、カラー、拡大縮少	No.12. ゼロックス（3台） No.13. 拡大縮少可能ゼロックス（4台） No.14. 大型自動分類複写機（1台）	11,950	
2.2 OHP、スクリーン、計算機、ストップウオッチ、マイク無線（ワイヤレスマイク）、タイプライター（日英独仏）	No.10. スクリーン（15基） No.36. ストップウオッチ（150個） No.16. 無線マイク（6組） No.19 タイプライター（日英独仏各2台）、計算機のみ計上なしその他	9,860 4,470	

長期調査	事前調査と対比		
機材について（57年11月6日天津での会談速記）	事前調査の項目との対応	事前調査後の参考見積金額	備考
		（千円）	
23. 保守に必要な設備	事前調査時には計上なし		※
3. 生活交通施設			
専門家用室内施、収塵器、大型冷蔵庫、洗濯機、クーラ付大中小マイクロバス、工具車、貨客車	事前調査時には計上なし		※
	No.24 車輌24席中型車（1輌） No.25 車輌小型車（2輌） No.26 車輌貨客両用者（1輌）	5,240	
4. 図書と資料			
管理用教材図書	No.33. 図書室用保管参考書	14,600	
管理面の刊行物	No.22. ③管理テキスト、書籍、雑誌		
管理教育用映画	No.22. ②カセットテープ、スライド	4,000	
図書管理設備			※
5. 建築設備専用機材			
クーラー、自動電話、化繊じゅうたん、プラスチックの防音設備、アルミサッシュ、紫外線除け窓ガラス、火災防止装置、教室用装飾電灯、エレベーター（以上）	事前調査にては計上なし		※
小計		88,930	
総括 A 第5項建築設備用専用機材以下（5～9）および第3項収塵器、冷蔵庫、洗濯機は計上せず。 B 事前調査では提言されず長期調査において提言された教育用機材、ビデオテープ、複聴覚調節（保全）機材、カラーフイルム現像、製作機材、フイルム編集機、各種保全設備、図書管理用設備	総括 A 大型コンピューター（512K）45,000千円 クラー設備51,000千円は計上せず。 B コンサルタント6ケ月コーステキストは未定 C 長期調査の際に提言されなかったもの カセットテープ急速複製機、写真現像引伸、ビデオテープ、テープレコーダー、メモモーション、黒板、用紙類、フイルム、観測する教室用大時計	(9,100)	事前調査時点での計 98,030
総計		98,930	

注）1. 経営管理基礎コーステキスト含まず。
2. 視聴覚室には未定。
3. 図書管理設備は金額追加の可能性あり。

JICA